

善兵衛ランド

☎072-447-2020

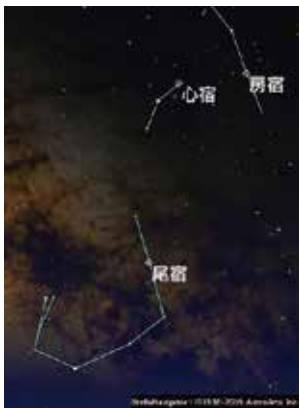
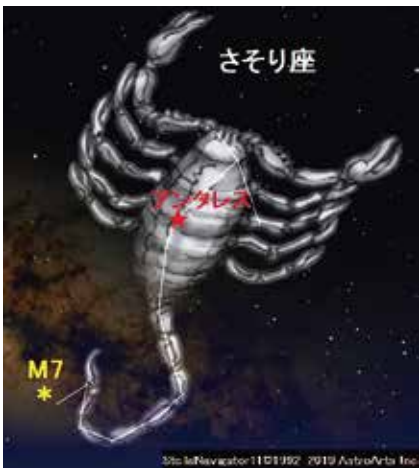
～JAXA宇宙教育リーダーによる～

JAXA コズミックカレッジ ミニミニキャンプ

募集

- ▶日程 ①7月10日(日)②9月4日(日)のいずれか
▶時間 午後6時30分～9時
▶対象 小学4年生～中学3年生(要保護者同伴)
▶定員 親子10組(多数の場合は抽選)
▶内容 バルーンロケットを作ってロケットの仕組みを学ぼう!
大型天体望遠鏡(60cm)で、月や星を観察しよう!
※ただし、天候により室内プログラムに変更します。
▶参加費 無料(筆記用具を持参してください)
▶申込 希望日・住所・氏名(子どもと保護者)・学年・電話番号を
記入しメール(zenbe-h@city.kaizuka.lg.jp)または窓口へ
▶申込期間 6月10日(金)～19日(日)

6月の星空



動画はこちら

さそり座が姿を見せる季節になりました。南の空の低いところに1等星アンタレスが見えてきます。これは、さそりの心臓といわれる星で、赤色をしているので、日本でも昔から「赤星」「酒酔い星」などとよばれてきました。表面温度が低く(3500度ほど)、太陽の約850倍の直径を持つ「赤色超巨星」という年老いた星です。さそり座は、このアンタレスを中心に、右上から左下にS字を描くように、星が並んでいます。

さて、日本で西洋の星座が使われるようになったのは、明治時代になってからです。それまでは、古代中国から伝わった星座が使われていました。さそり座は、その「二十八宿」の中にあり、3つの部分(房宿・心宿・尾宿)に分かれていました。

1793年(寛政5年)、貝塚の岩橋善兵衛が製作した「窺天鏡」(望遠

鏡)を使って、京都伏見で、日本初の天体観望会が開かれました。長さ2.5mほどの望遠鏡で、太陽をはじめ多くの天体を、善兵衛の解説付きで観察しています。その時の記録では、さそり座の部分について、「観尾宿…」とあり、「白気(散開星団M7)は、小さな星が23個集まっている」などと述べられています。

★月の観察
6月9日(木)～11日(土)、7月7日(木)～9日(土)が適しています。

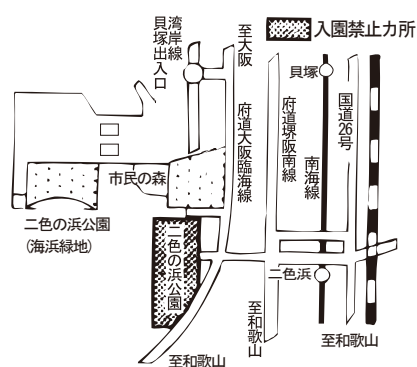
★惑星の観察
今月は、金星が昼過ぎまで、中旬からは、水星も観察できます。夜間は、観察できる惑星はありません。

★6・7月の休館日
水曜、7月19日(火)
※6月30日(木)は、集会室と多目的室のみ利用できます。

二色の浜公園 夜間入園禁止のお知らせ

花火騒音対策のため、二色の浜公園(澤地内)への夜間入園を禁止します。

禁止期間 7月1日(金)～9月4日(日)までの午後10時～翌日午前5時
問合せ先 二色の浜公園管理事務所
☎072-422-0442



図書館

☎072-433-7200

◆おはなし会(土曜午前11時～、2階視聴覚室)

▶6月11日・18日・25日絵本や紙しばいを読みます▶7月2日 5歳ぐらいからを対象にストーリーテリングをします。

◆映画会「トムとジェリー」(子ども向け)

▶日時 6月26日(日)午後1時15分～2時35分▶場所 2階視聴覚室▶定員 40人(定員になり次第締切)▶申込 窓口・電話で

◆本好きのおかあさん集まれ!

本の紹介やみんなで楽しくおしゃべりをしましょう。

子どもを預けてゆっくり図書館の本を選ぶ時間もありますよ。

▶日時 7月4日(月)午前10時～11時▶対象 就学前の乳幼児と母親(市内在住のかた優先)▶定員 5組程度(定員になり次第締切)▶申込 窓口・電話で

◆6・7月の休館日

火曜、6月30日(木)、7月18日(月)

移動図書館「ひまわり号」の巡回日

★6月8日(水)
半田桜塚住宅 14:00～14:45
府宮三ツ松第2団地 15:00～15:45

★6月15日(水)
フラワリータウンA棟前 15:15～16:00

★6月20日(月)
蕎原会館 15:30～16:00

★6月22日(水)
サンシティ貝塚管理棟前 15:00～16:00

※変更になる場合があります。



自然遊学館

☎072-431-8457

二色の浜キジハタ稚魚放流

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場で育てられた稚魚を、二色の浜の海に放流します。大きく育ててくれるといいですね!

放流の前に砂浜の清掃をしましょう。

▶日時 6月12日(日)午前10時～11時30分(小雨決行・大波中止)

▶集合 二色の浜海岸中央部マ

ス付近▶対象 どなたでも(中学生以下は保護者同伴)▶定員 40人(定員になり次第締切)▶申込 6月6日(月)から電話で

せんごくの杜 トンボ採集と標本作り

せんごくの杜でトンボを採集して標本をつくります。

▶日時 7月2日(土)午前10時10分～午後2時30分(雨天中止)▶集

合 は～もに～ばす「こそもの里」バス停に午前10時10分▶講師 松田勲さん、梅崎裕さん(関西トンボ談話会)▶対象 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)▶定員 20人(定員になり次第締切)▶申込 6月6日(月)から電話で

※昼食を持参してください。



生きものだいすき!「サツマヒメカマキリ」



越冬した幼虫



成虫 ※自然遊学館によく来館されるかたのイラストです。

一足お先に

成虫のカマキリを目にするようになるのは暑さの厳しい8月くらい。でも6月頃、一足先に成虫の姿で出会えるカマキリがいます。サツマヒメカマキリです。体長わずか3cm前後ですが、すでに立派な大人。得意技は擬死…死んだふりをして窮地を逃れます。

貝塚市でみられるカマキリの中で、サツマヒメカマキリだけは秋に卵がふ化して幼虫で冬を越す珍しい種類です。わずか2cmほどの幼虫が厳しい冬を乗り越えるのです。

でも、こんな人気があるカマキリの仲間は、実はゴキブリの仲間と共通の祖先から進化したと考えられています。つまり、色が似ているバッタやナナフシなどよりもゴキブリに近いってことなんです。

問合せ先 自然遊学館 ☎072-431-8457